

大空 —放哉だより—

第155号 2024.7.5

発行:小豆島尾崎放哉記念館 〒761-4106 土庄町本町甲1082 ☎62-0037

鳥取訪問

6月6日(木)、第23回放哉ジュニア賞表彰のため、「放哉」南郷庵友の会から三枝断水さん(ジュニア賞選者)、港教育長、生涯学習課長の3名が鳥取市立修立小学校を訪れました。表彰式は同校体育館で行われ、各賞受賞者を代表して優秀賞の2名に、港教育長から賞状が手渡されました。毎年たくさんの投句があり、今回は240名439句ご応募いただきました。



日本海新聞(令和6年6月18日)

放哉が通った立志小学校の後身校であり、校内には放哉句の句碑



や「尾崎放哉コーナー」が設けられていました。総合学習の時間には講師をお招きし学んでいるそうです。また、5年生の代表児童らから、それぞれが調べまとめたこと・好きな句についての思いなどの学習発表がありました。皆さんが一生懸命に取り組んでいる姿勢がしっかりと感じられました。

来年は没後100年という節目の年を迎えます。次回もより多くの俳句をお待ちしています。何卒よろしく願いいたします。

第七回尾崎放哉賞大賞を受賞された、いまきいれ尚夫様が受賞句を短冊に書いてくださいました。これまでの受賞作品と共に記念館に展示しています。



第七回尾崎放哉賞大賞を受賞された、いまきいれ尚夫様が受賞句を短冊に書いてくださいました。これまでの受賞作品と共に記念館に展示しています。

是非ご覧ください。

月を青くして誰もいないふる里

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

●放哉だより発行日
☐ 記念館休館日 ☐ 資料館休館日



放哉の小学校時代について書かれた文章を一部抜粋して紹介します。

『春の烟』『幼な友達 岩田勝市』より

…(略)…小学校は現今の修立校は未だ出来ておませぬ時で『立志』といふ学校に通つたのです。『立志』といふ学校は立川二丁目の宇挽木の曲り角を『総井トバ』に抜ける小路の途中から右に折れて突き当つた所にあつたのです。学校といつても民家を修理して充てたもので、何でも二階の梁の両端が大層低くて、式日などに来賓があると、少し背の高い人は頭を打ちつけたものです。此事は『立志』に通学してゐた誰もが興味を以て記憶してゐる所ですから、放哉君も『今日も誰か頭を打つだらう。』と期待して待つてゐた一人と思ふのです。しかし秀雄君はイタヅラ児では無かつたやうでした。極めて温順な、人と喧嘩しない黙りこい性質でした。学科は良く出来た。…(略)…